

キャベツの菌核病が多発しています

～ 次の作付けのため発病部位を処分しましょう ～

1. 現在までの発生状況と今後の発生予想

6月4半旬のキャベツの巡回調査（山本地方）における菌核病の発病株率は61.3%（平年2.6%）で高く、平年を大きく上回っている（図-1、2）。

6月25日に仙台管区气象台から発表された東北地方1か月予報によると、平年と同様に曇りや雨の日が多いと予報されている。

以上のことから、今後も菌核病の増加が懸念される。また、すでに発生しているほ場についても次の作付けのために適切に対策を講ずる必要がある。

2. 防除対策

- 1) 発病株は隣接株の伝染源になること、放置して菌核が形成されると被害残さとともに土壌に残り次の作付けの伝染源になることから、発病部位を早めに除去し残さをほ場に残さないように処分する。
- 2) これから結球期を迎える作型では、結球始期から予防的に薬剤を散布する（表-1）。この時、初発部位である葉柄基部に薬液が十分かかるようにする。また、結球中期以降は収穫前日数に注意して薬剤を選択する。
- 3) 多発ほ場での連作は避ける。
- 4) 連作で次の作付けをする場合は、明渠を掘るなどほ場の排水性を良くし、結球始期から予防的に薬剤を散布する。

3. 資料

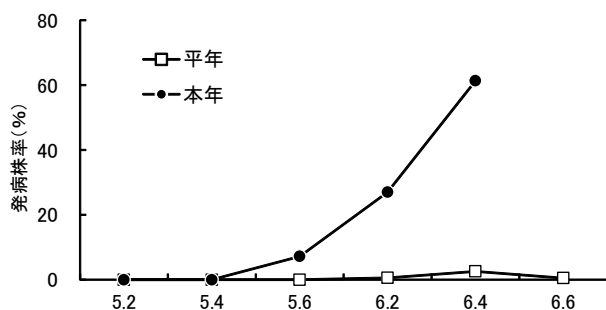


図-1 巡回調査における発病株率の推移(山本地方) (月. 半旬)



図-2 発病株

表-1 キャベツの菌核病の主な登録薬剤

農薬名	希釈倍数	使用時期	使用回数
セイビアーフロアブル20	1,000倍	収穫3日前まで	3回以内
トップジンM水和剤	1,000～1,500倍	収穫3日前まで	2回以内
ベンレート水和剤	2,000倍	収穫7日前まで	6回以内
ロブラール水和剤	1,000倍	収穫7日前まで	4回以内
スマレックス水和剤	2,000～3,000倍	収穫14日前まで	4回以内

【 問合せ先 】

秋田県病害虫防除所 Tel 018-881-3660
 秋田県農業試験場 Tel 018-881-3326
 掲載HP <http://www.pref.akita.lg.jp/bojo/>